

企業の環境保全活動における 環境カウンセラーの役割



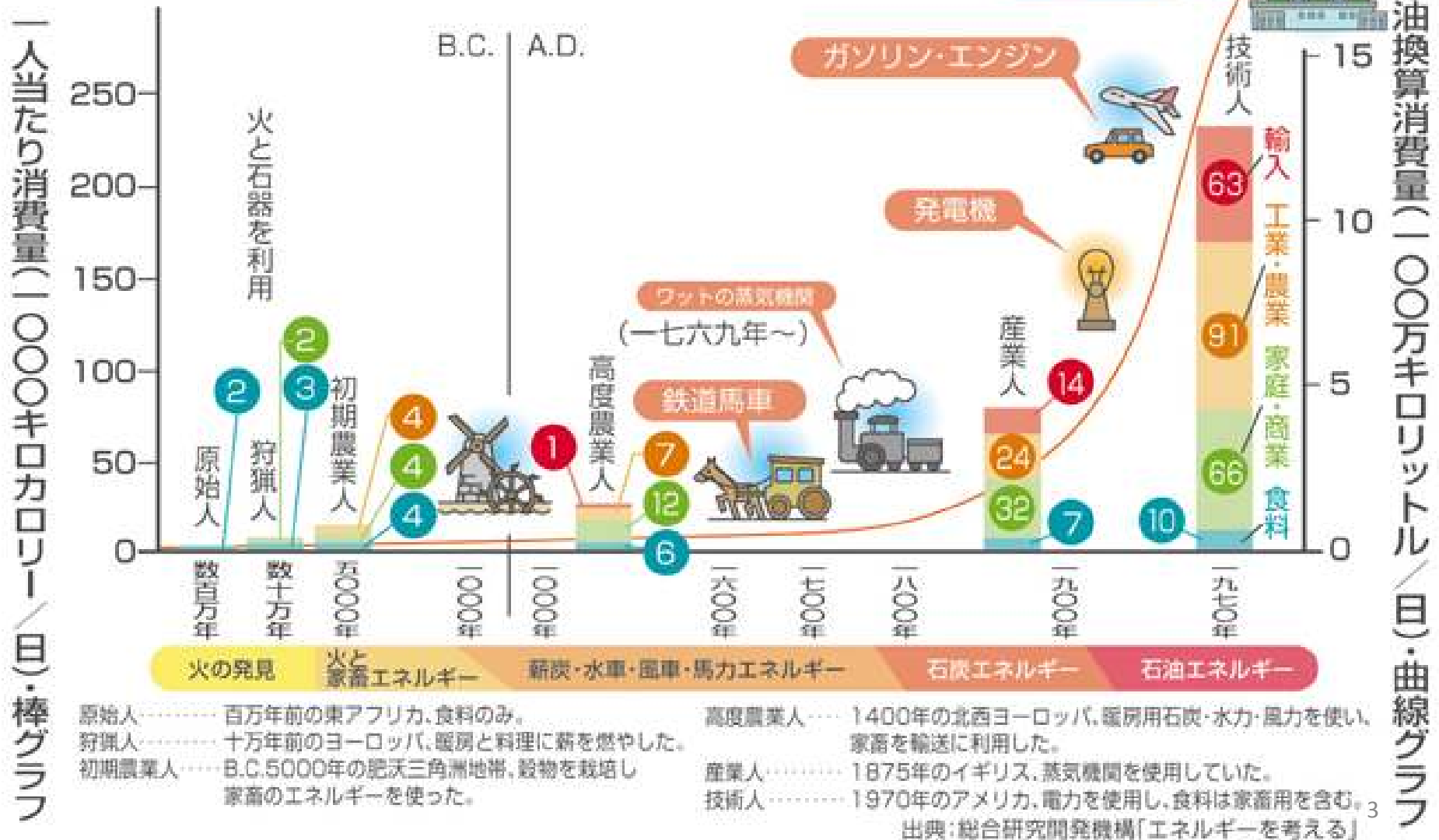
2012年12月2日
岡山市環境カウンセラー 近藤晴巳

内容

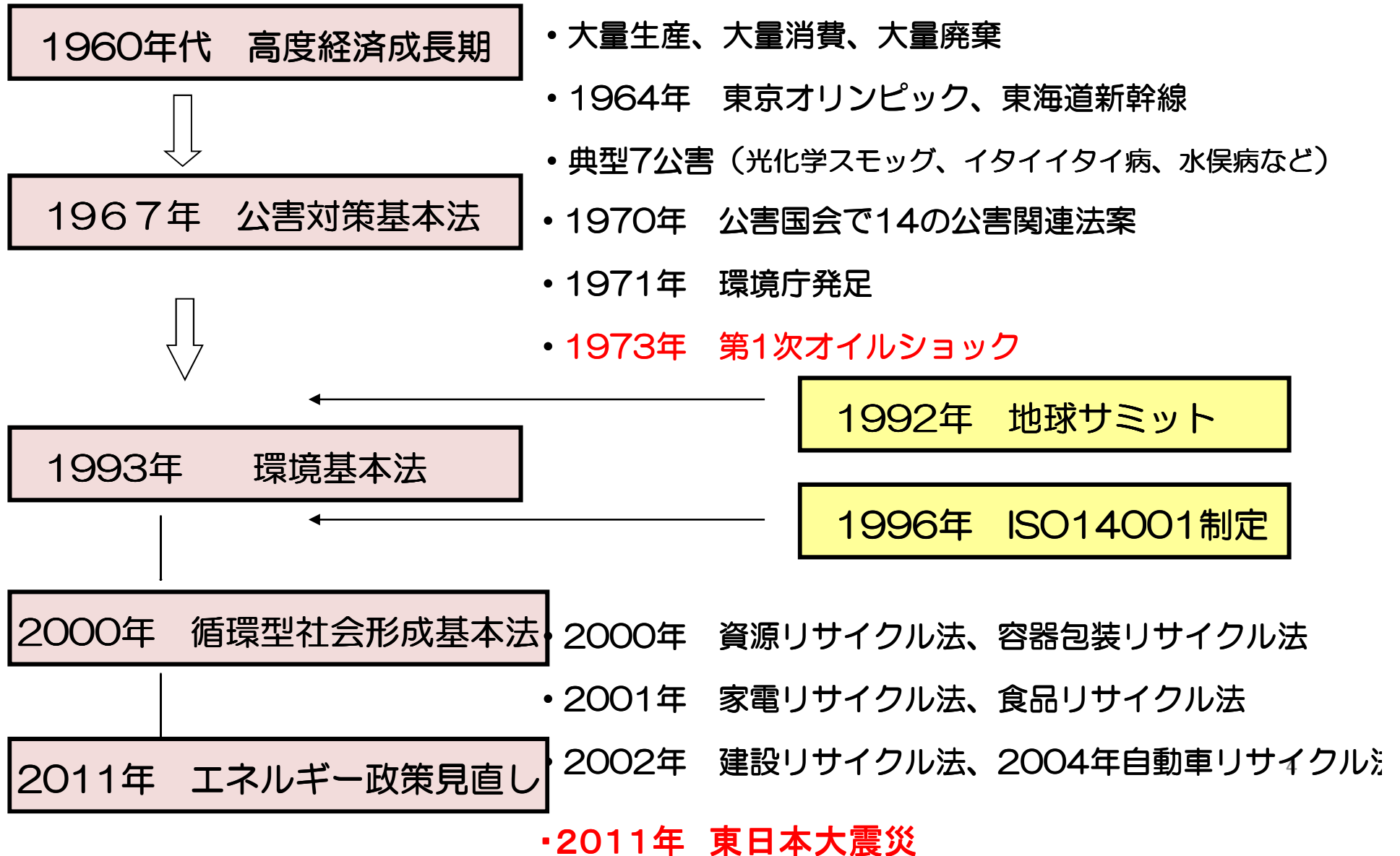
1. 製鉄所の環境問題への取組
(製鉄所での30年間の勤務経験から)
2. 企業の環境マネジメントシステムへの取組
(10年間のEMSの支援・審査経験から)
3. 企業の環境保全への取組
(調査報告レポートから)
4. 環境カウンセラー活動の現状と課題

エネルギー消費量の推移

■人類のエネルギー利用のうつりかわり

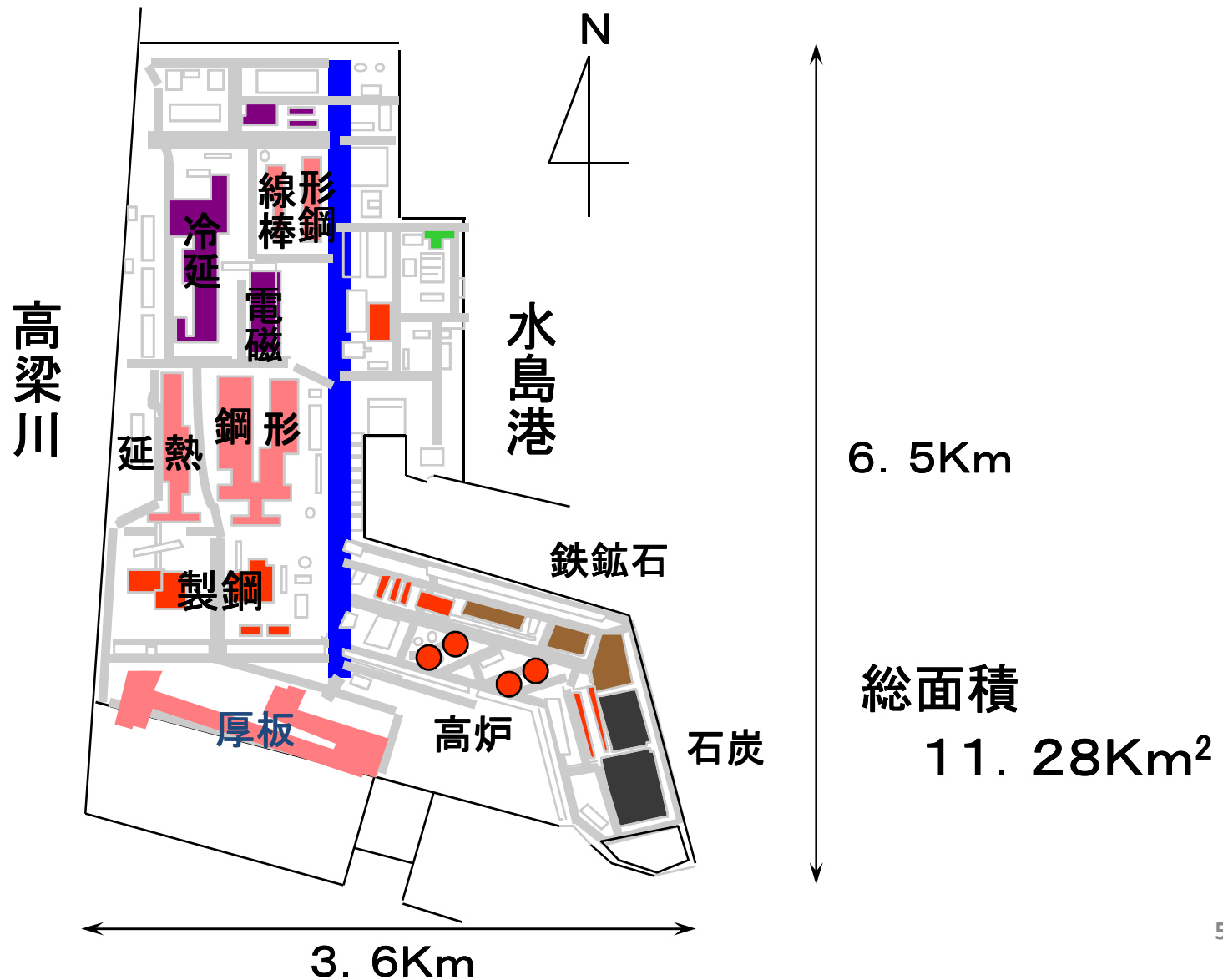


最近50年の環境問題の変遷

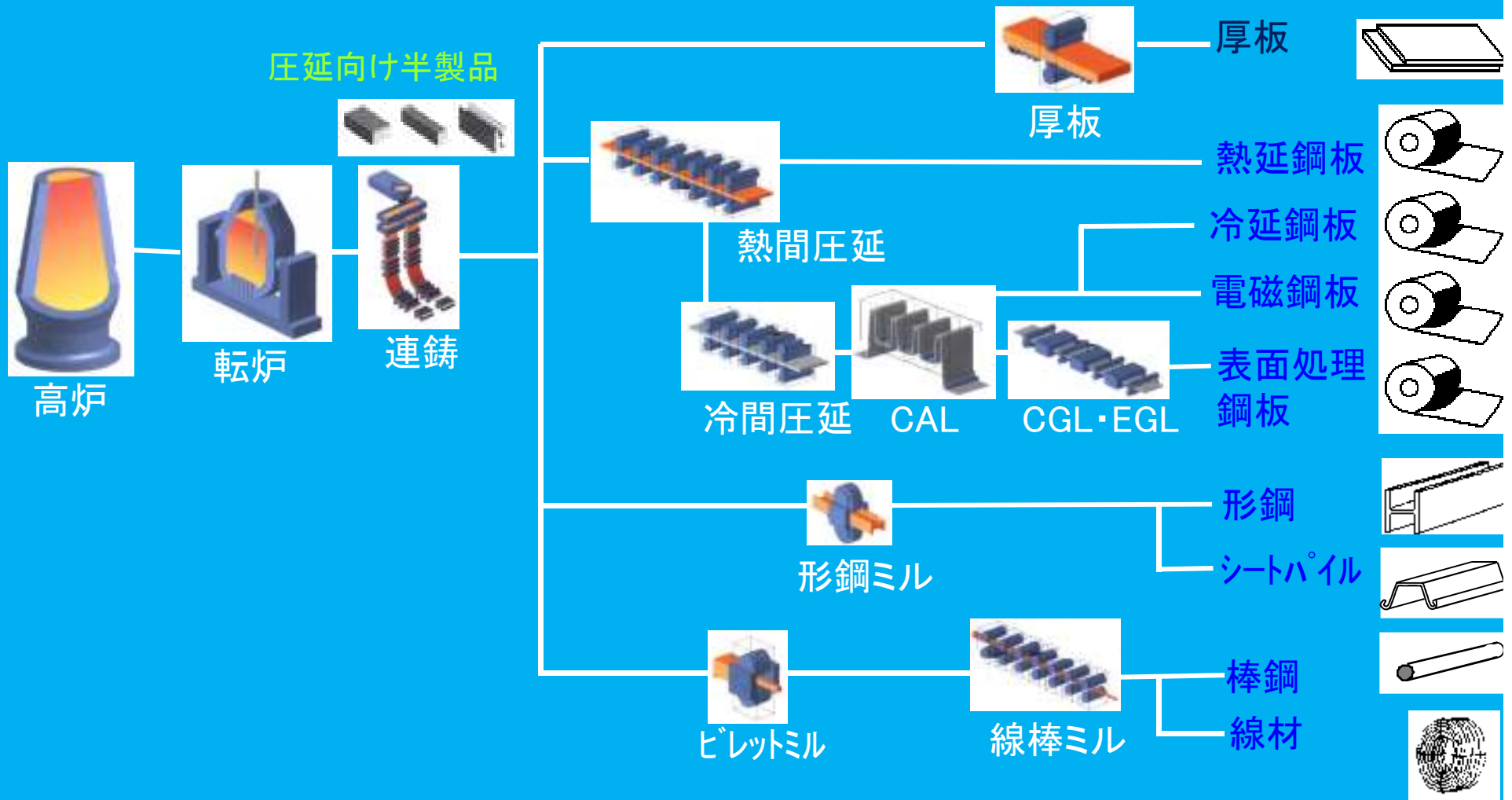


1) 製鉄所30年の勤務経験から

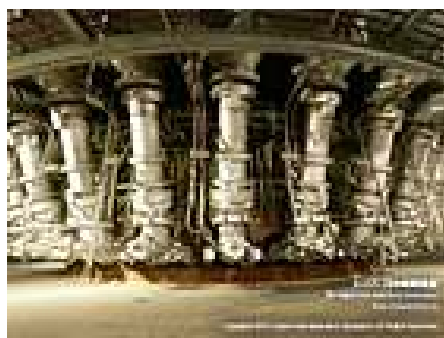
水島製鉄所 設備レイアウト

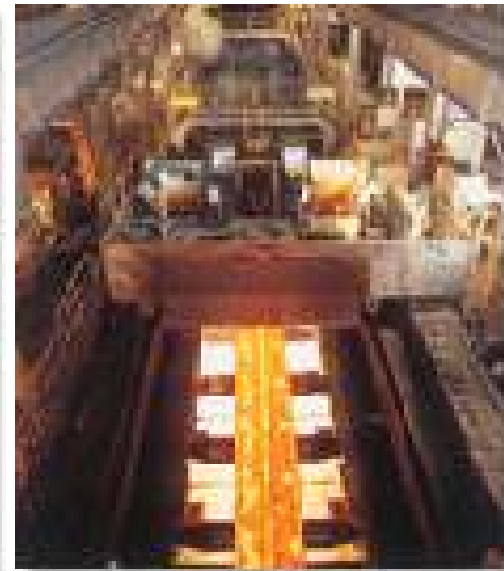


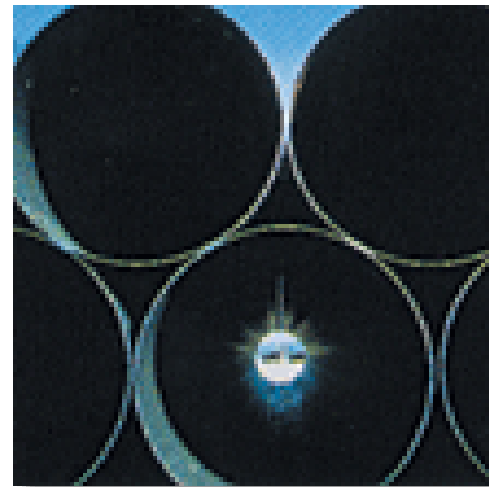
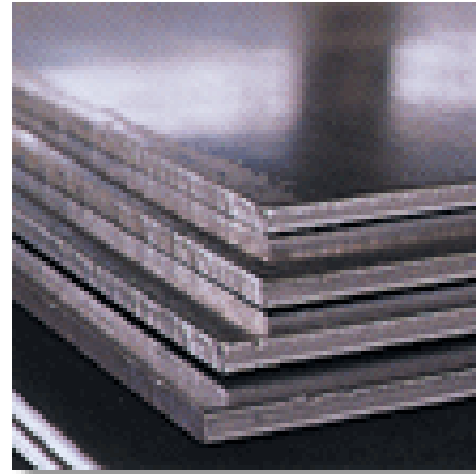
鉄鋼製造プロセス











この30年間の製鉄所の環境への取組

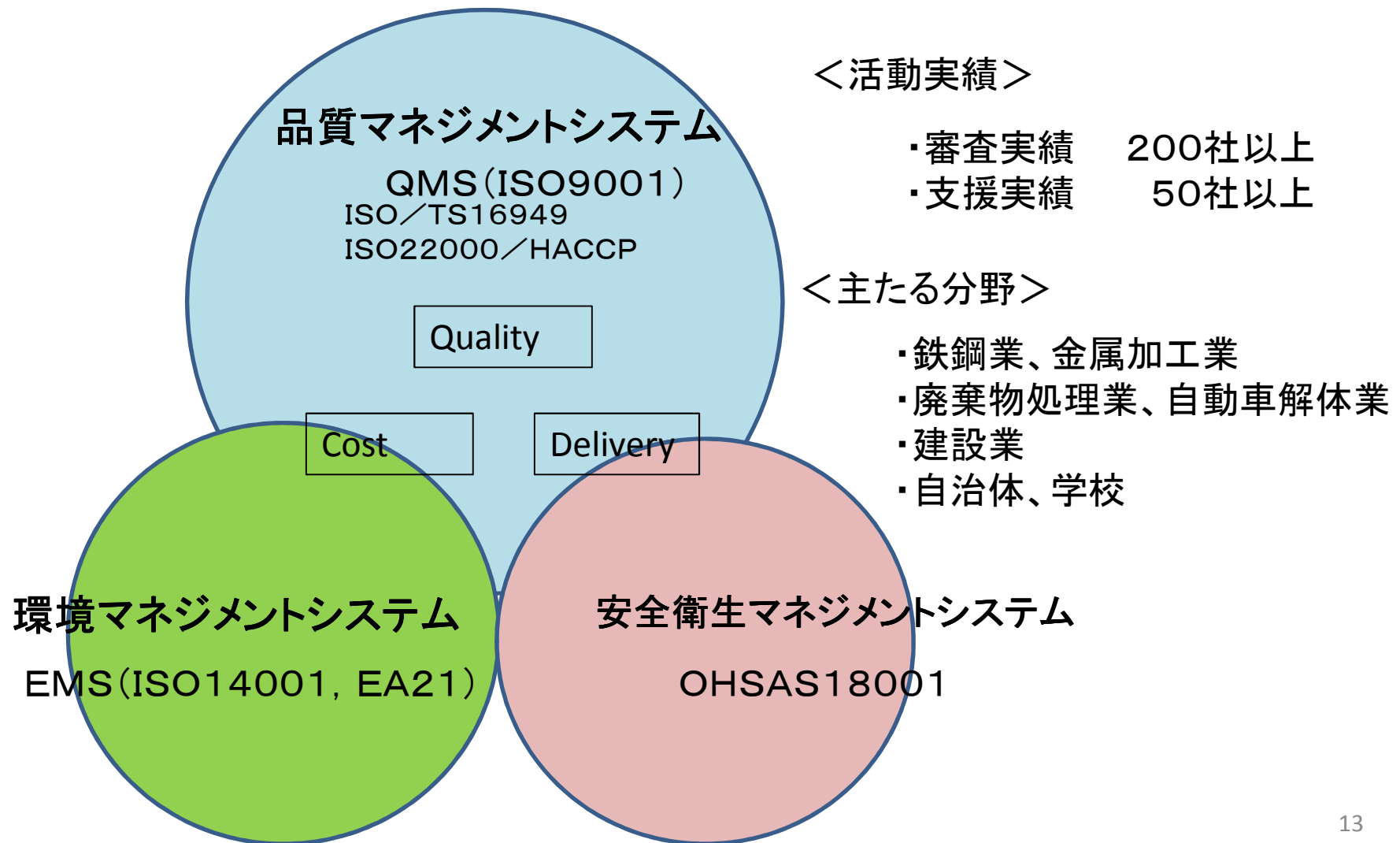
- 1. 大型化、連続化** : 高炉内容積 2000m³→5000m³
連続鑄造、熱片直接圧延、連続アンローダー
- 2. 省エネルギー** : 排熱回収 (コークス、焼結鉱冷却排ガスから蒸気回収)
モータ類回転数制御
- 3. 発塵、ばい煙対策** : 集塵機性能向上 (重力式、水洗式→バグフィルター)
排煙脱硫、排煙脱硝
- 4. 排水対策** : 処理性能向上 (沈降式濾過、中和、活性汚泥)、循環化)
- 5. 資源リサイクル** : スラグ、ダストの再資源化、環境ビジネス
- 6. 高級鋼化、高付加価値化** : 高張力鋼、電磁鋼板、表面処理)

鉄鋼業（高炉・転炉法）のエネルギー原単位の国際比較



出典：(財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 「エネルギー効率の国際比較 (発電・鉄鋼・セメント部門)」

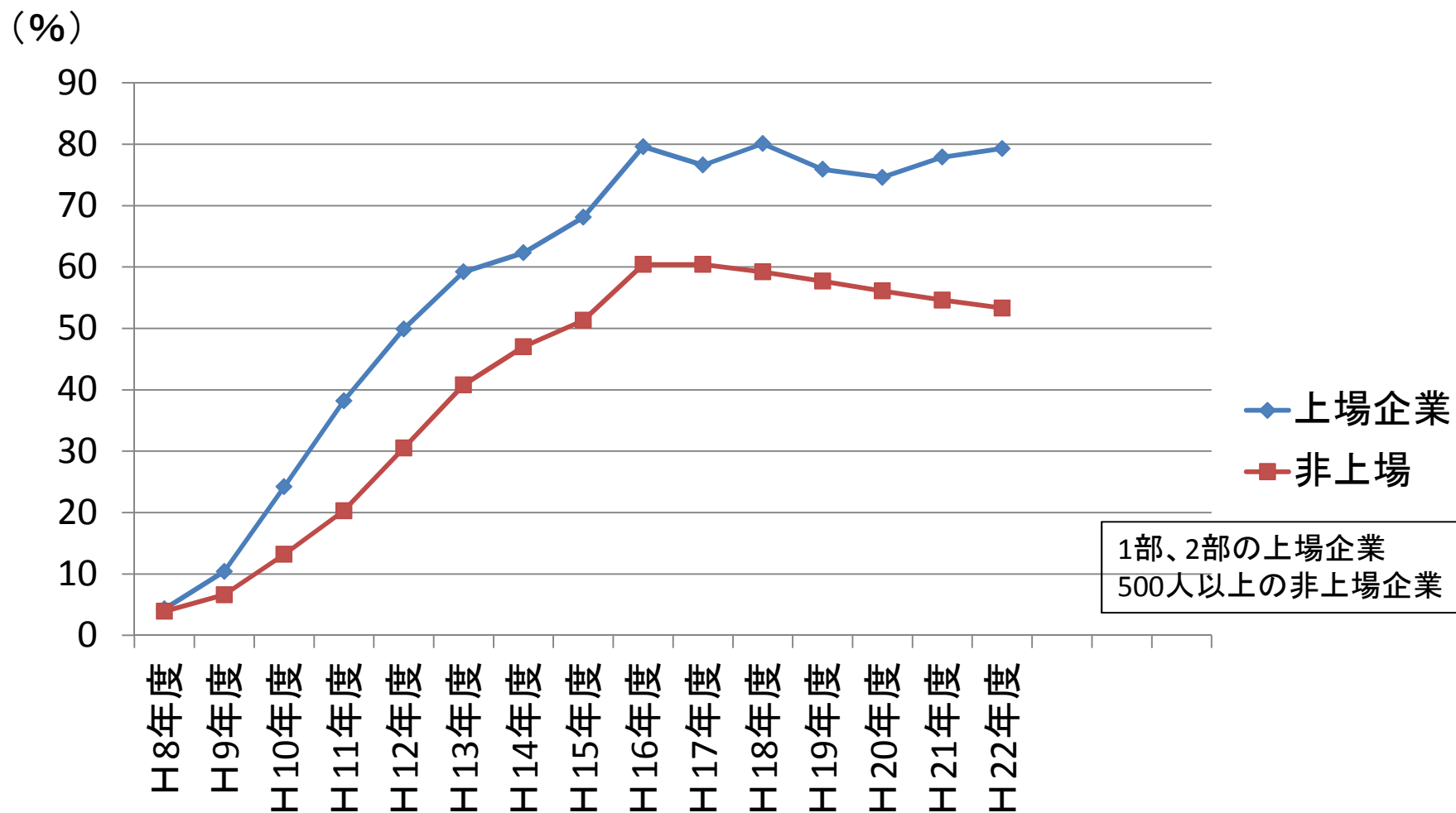
企業のマネジメントシステムの普及活動



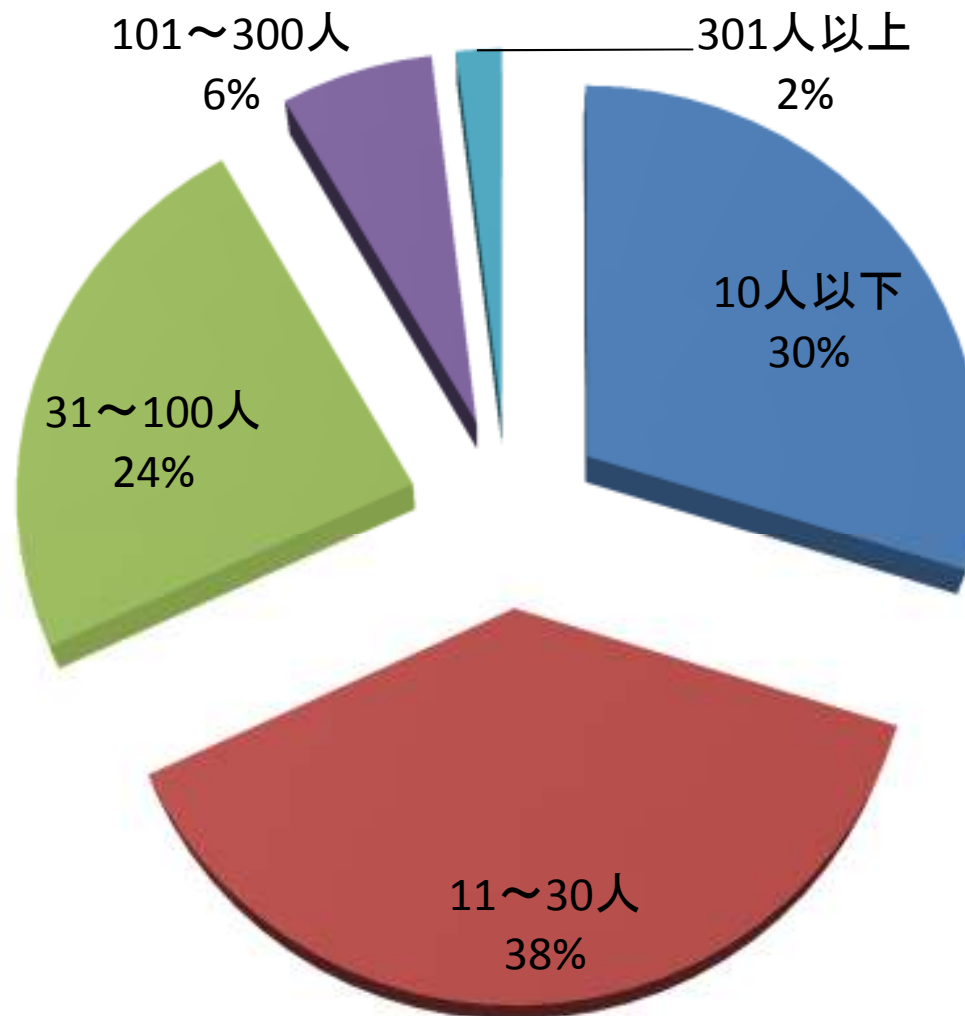
主要な環境マネジメントシステム

名称	認証機関	登録件数	特徴等
ISO14001	(公財)日本適合性認定協会(JAB)他	20,145件 (2011年6月)	国際標準化機構(ISO)が1996年に発行
エコアクション21 (EA21)	(財)持続性推進機構	6,694件 (2011年8月)	環境省が策定したガイドラインに基づく規格
エコステージ	(社)エコステージ協会が認定した評価機関	1,525件 (2011年8月)	初級から上級まで5段階のステージ
KES	KES環境機構、KES協働機関	3,720件 (2011年8月)	京都の中小企業対象としたEMSで他地域にも展開
グリーン経営	交通エコロジー・モビリティ財団	4,336件 (2011年8月)	国交省が策定した環境行動計画に基づく、対象は運輸事業者

ISO14001の認証取得率の推移



EA21認証取得事業者の規模割合



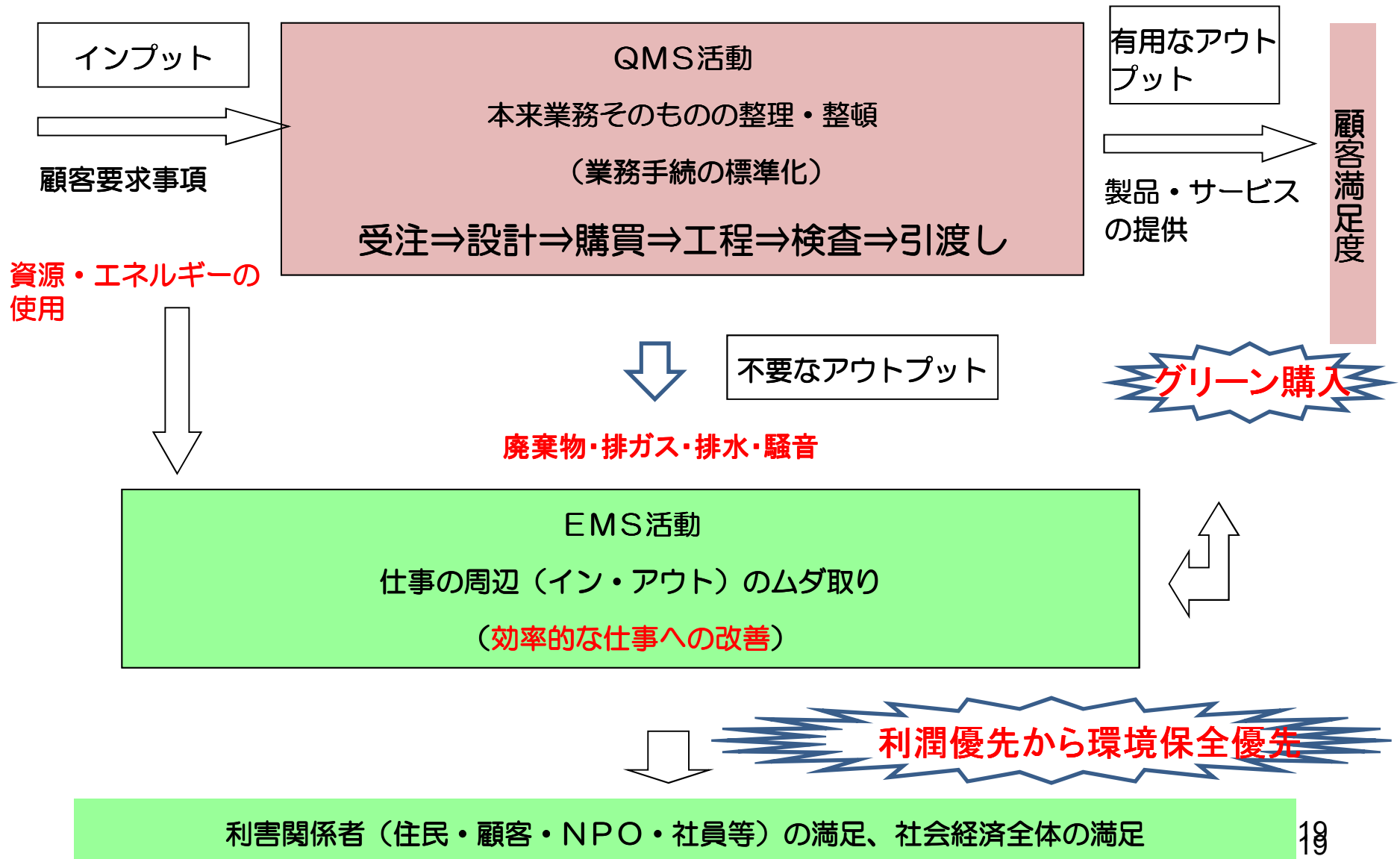
マネジメントシステム導入の成果

1. 環境に対する従業員の意識の向上
2. 外部からの評価の向上
3. 省エネ、廃棄物削減の推進
4. 環境法規制の順守の徹底
5. 仕事の進め方が改善された
 - ①目標管理制度の定着
 - ②標準化の推進
 - ③再発防止活動の定着
 - ④文書・記録類作成の定着
 - ⑤コミュニケーション、教育制度の定着

導入した組織で生じている課題

1. 認証取得することが目的になっており、継続的な活動に展開されていない。
2. 規格に適合するための文書や記録が作成されており、有効な活動にするために活用されていない。
3. 一部の担当者の活動に留まっており全員参加の活動に展開されていない。
4. 紙・ごみ・電気の削減活動に終わっており、本来業務の効率改善や環境配慮活動に至っていない

本来業務と一体化したEMS活動推進



監査員に求められる個人的特質

(出典: 品質ISO19011:2002及び/又は環境マネジメントシステム監査のための指針)

監査員は、次のようであることが望ましい

- 1) 倫理的である。すなわち、公正である、信用できる、誠実である、正直である、そして分別がある。
- 2) **心が広い**。すなわち、別の考え方又は視点を進んで考慮する。
- 3) 外交的である。すなわち、目的を達成するように**人と上手に接する**。
- 4) **観察力**がある。すなわち、物理的な周囲の状況及び活動を積極的に意識する。
- 5) 知覚が鋭い。すなわち、**状況を直感的に認知**し、理解できる。
- 6) **適応性がある**。すなわち、異なる状況に容易に合わせる。
- 7) **粘り強い**。すなわち、根気があり、目的達成に集中する。
- 8) 決断力がある。すなわち、**論理的な思考及び分析に基づいて**、時宜を得た結論に達する
- 9) 自律的である。すなわち、**他人と効果的なやりとりをしながらも**独立して行動し、役割を果たす。



有効な活動にするためには**審査員の力量**が重要なキー

システムの活動を阻害する審査人、判定委員

1. 規格要求事項、ガイドラインの真の狙いを理解していない審査人、判定委員
2. 組織の実態、ニーズを把握できない審査人、判定委員
3. 枝葉末端にこだわり大所高所から見れない審査人、判定委員
4. 視野が狭く一方的な見方しかできず、自分の考えを押し付ける審査人、判定委員
5. 組織の発展に結びつく指摘ができない審査人、判定委員

3) 中小企業における環境問題への取組

企業における環境問題への取組状況

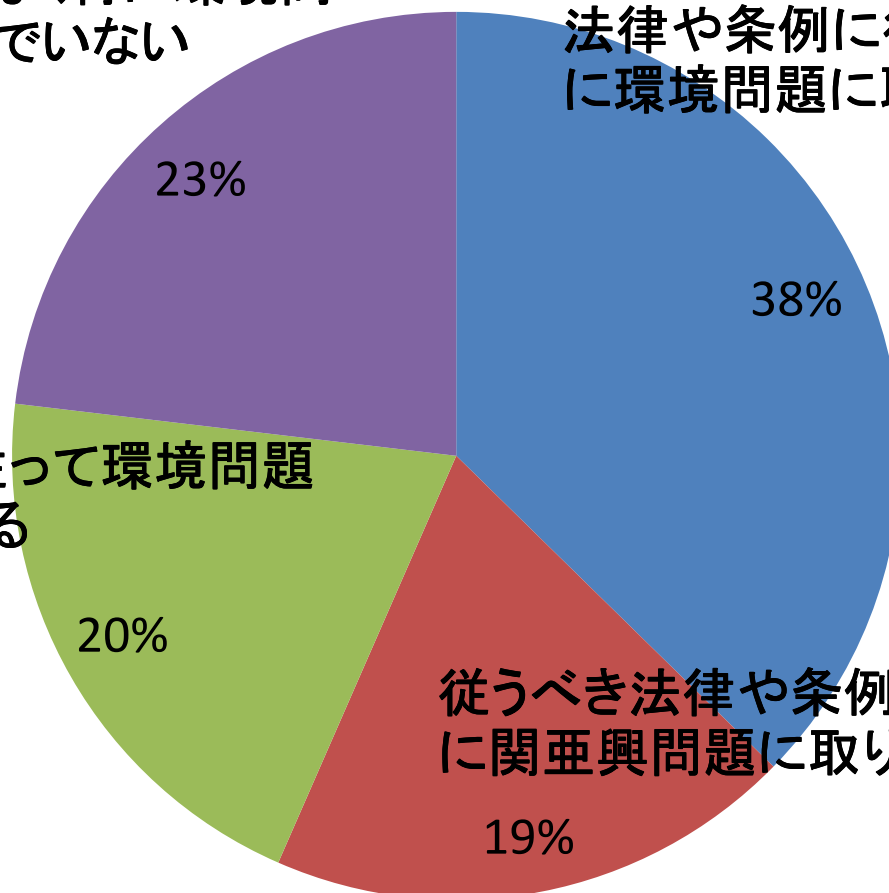
出典： 中小企業の環境対応(財)商工総合研究所：平成23年度調査研究事業報告書

従うべき法律はなく特に環境問題には取り組んでいない

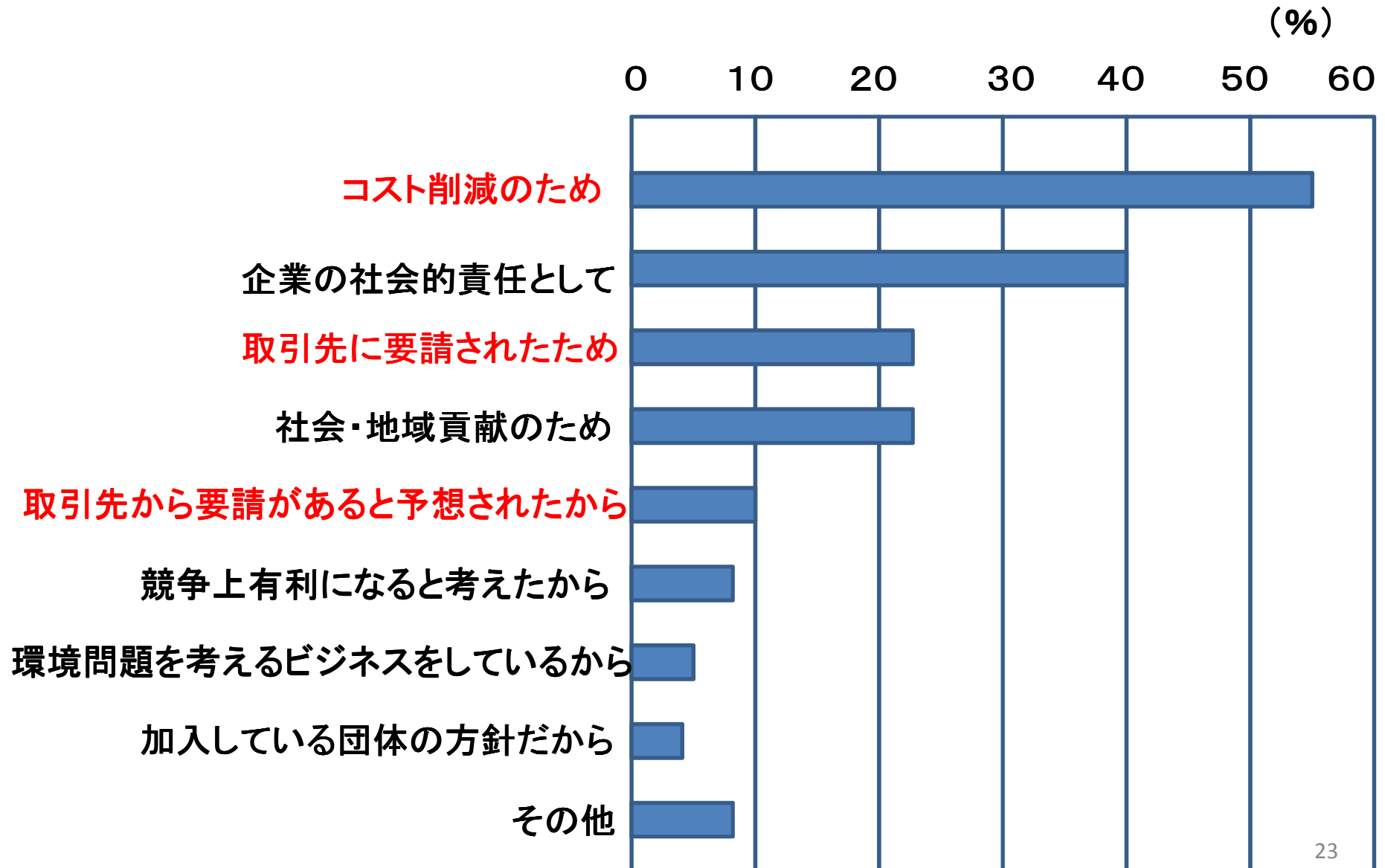
法律や条例に従って環境問題に取り組んでいる

法律や条例に従うほか、自主的に環境問題に取り組んでいる

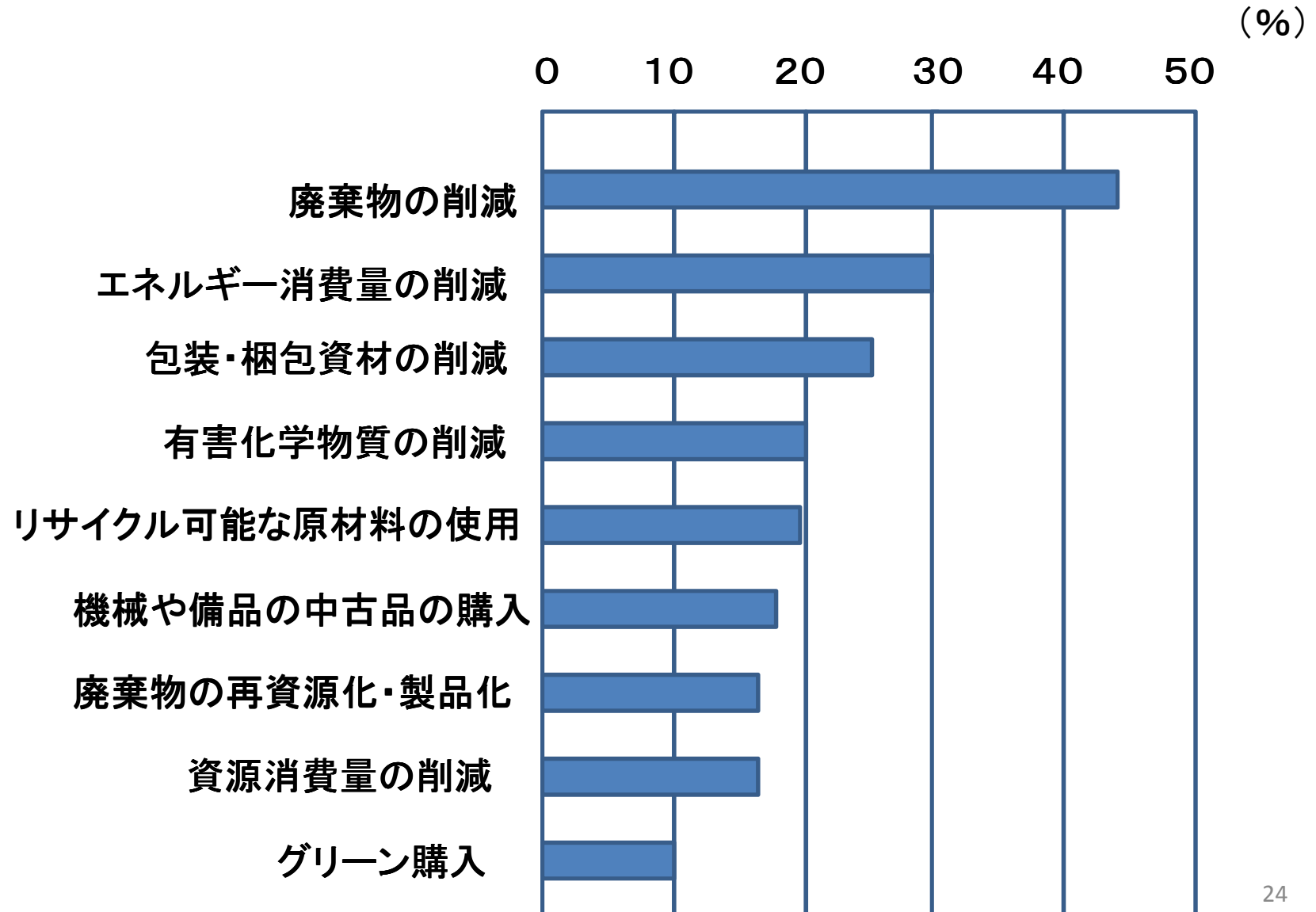
従うべき法律や条例はないが、自主的に関連問題に取り組んでいる



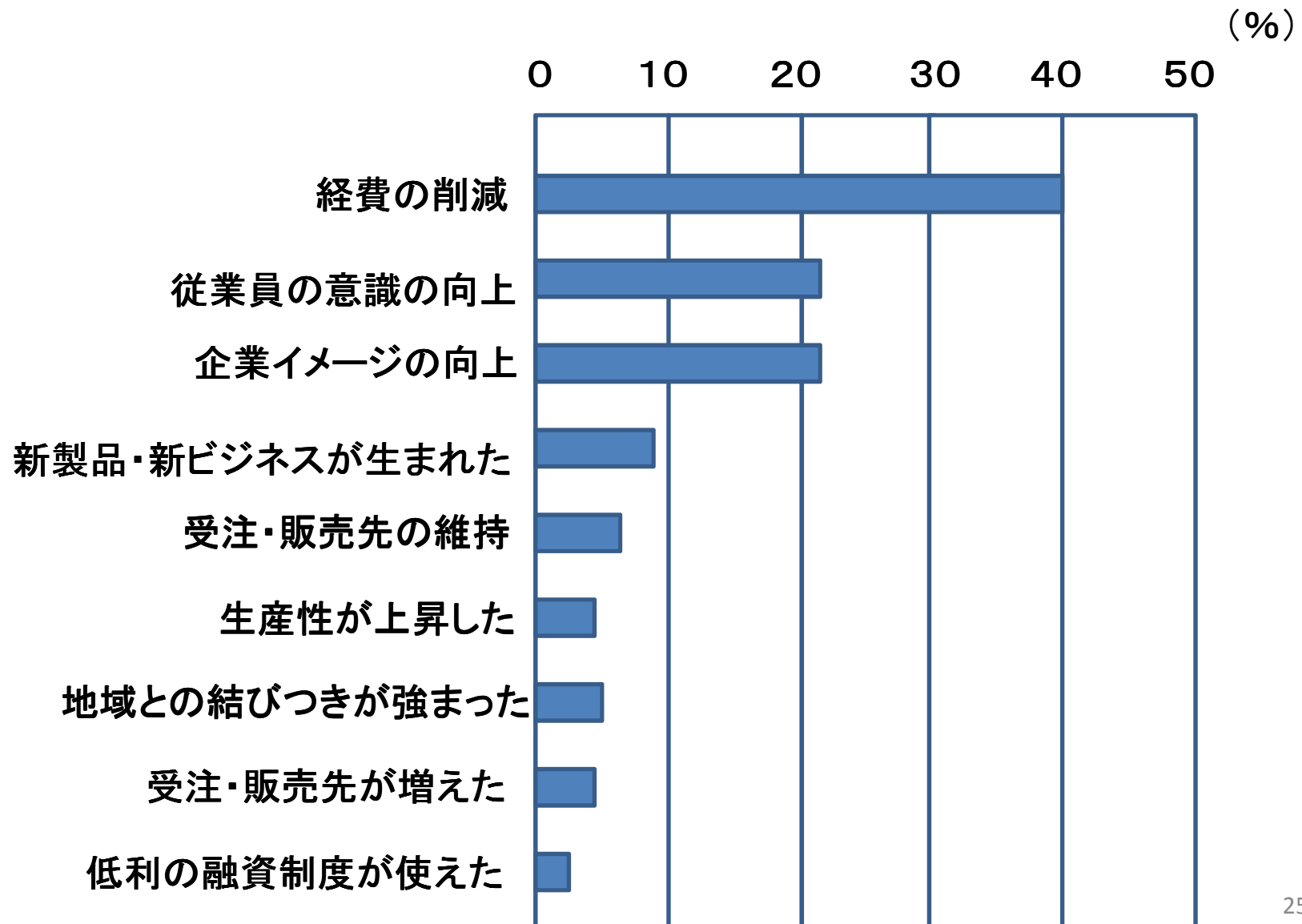
環境問題に取り組んだ動機



環境問題への取組内容



環境問題に取り組んだことによる効果

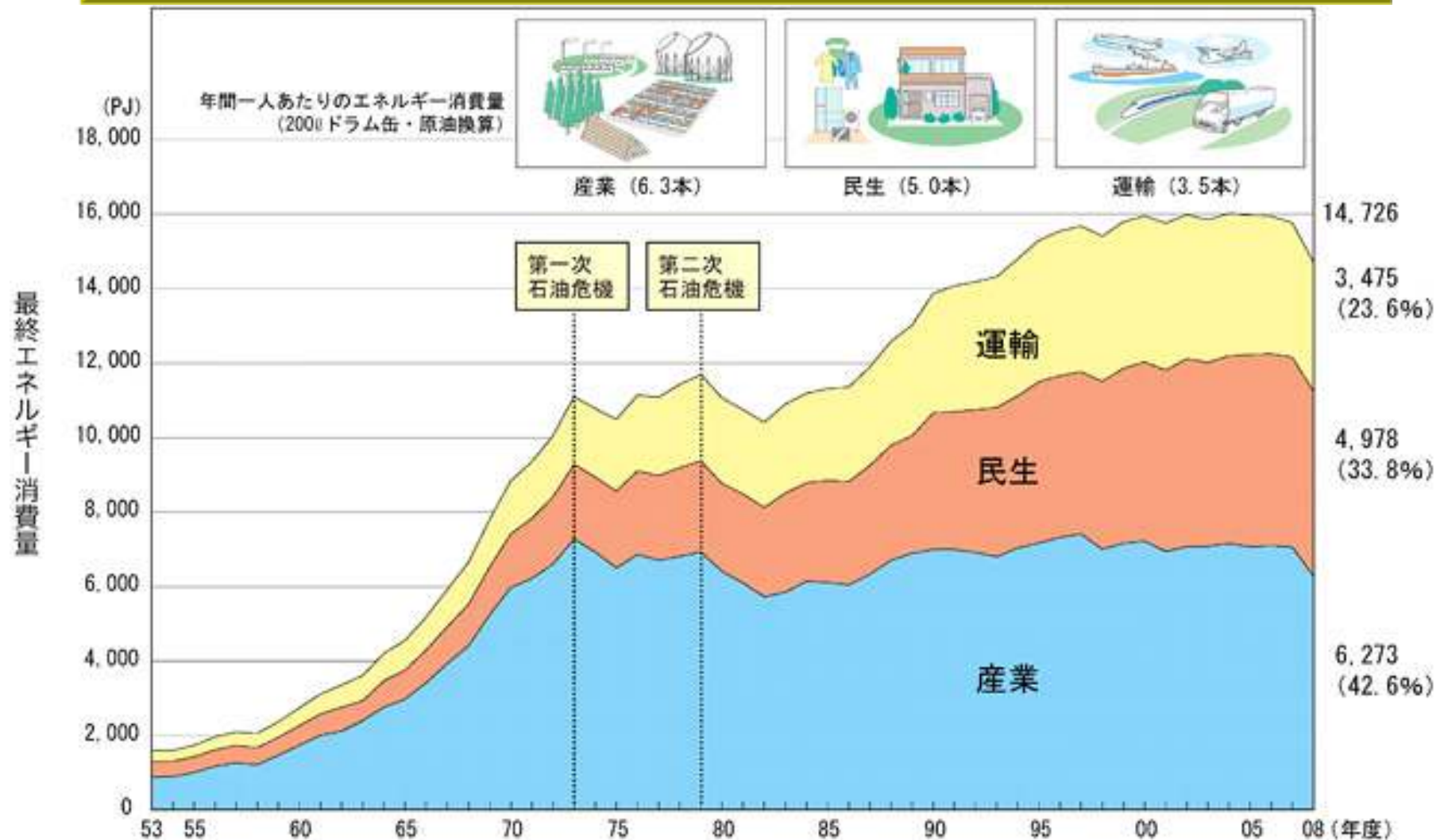


4) 環境カウンセラー活動の現状と課題

環境カウンセラーの活動分野

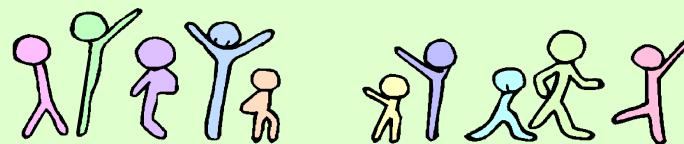


日本のエネルギー消費の内訳



(注) 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある
1PJ (=10¹⁵J) は原油約25,800klの熱量に相当 (PJ: ペタジュール)

OPECAの概要



OPECAの設立

1998.11.4 有志による「岡山環境カウンセラー協会」発起
2004.3.15 「NPO法人岡山環境カウンセラー協会」認可

OPECAの活動理念（目的）

環境省の環境カウンセラー登録制度にのっとり、市民、市民団体、事業者、行政などの社会を構成する各主体間にパートナーシップを形成しながら、環境保全活動の推進に資することを目的とする。

OPECAの活動内容

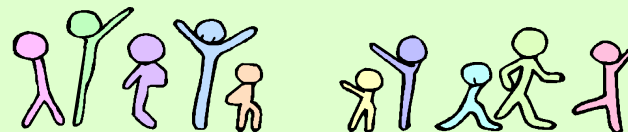
1. 環境問題、環境保全活動、組織運営等に関する相談に関する助言
2. 環境関連事業・環境教育などの企画・運営
3. 環境問題に関する情報交換
4. 環境ボランティアの育成
5. 会員の資質向上を図る事業

OPECAの会員状況（2011年5月現在）

正会員 41名 賛助会員 15名 法人会員 1法人

事業者部門環境カウンセラー…20名、市民部門環境カウンセラー…24名（重複有資格…3名）

最近の活動



2012年	「おかやまNPOアワード2012」の大賞
2011年	環境大臣との懇親会
	東北大震災調査・支援活動
2010年	生物多様性COP10交流会参加
	岩手県議会他で講演活動
	岡山ESDプロジェクト「環境活動をするための学習講座」4回開催
	環境展示ブース参加「市民のエコライフ&テクノロジー、岡山大学」ほか6事業
	エコツアー開催
	環境学習講座への講師派遣
2009年	環境省循環型社会地域支援事業「資源の地産地消で地域コミュニティを再生します」プロジェクト実施
	環境展示ブース参加「3R推進中国地方大会リサイクルフェアin倉敷」 「エコ&フーズフェア」ほか6事業
	エコ植樹
	ワークショップ、シンポジウムにファシリテーター派遣
	講演会への講師派遣
	環境カウンセラー中四国研修（環境省主催）実施

岡山環境カウンセラー協会の現状・課題

1) 最近の主たる活動

- ・東日本大震災現地訪問と支援(NPOアワード2012受賞)
- ・環境学習講座開催

2) ISO, EA21 普及活動 (岡山商工会議所、倉敷商工会議所の地域事務局主体)

- ・岡山県内の取得は100件程度で停滞化

3) 協会活動の普及

ホームページ、会報(2回/年)

4) 活動の停滞化

活動予算規模減少(行政等からの委託事業減少)

5) 会員数減少化、総会、定例会への参加メンバー減少化、固定化

会員のメリット少ない



カウンセラー協会活動活性化のための見直しが必要な時期